

三重県神道青年会報

# 神

第四十八号



会長挨拶 吉田実生



令和二年度総会にて令和三年度より二年間会長の任を仰せつかることとなり、早一年が経ちます。この間、我々の活動にご理解とご協力を賜りました関係各位には衷心より感謝を申し上げます。さて、全世界的ないわゆる「コロナ禍」の只中に動き始めた今期、当会も常にこの「目に見えぬ敵」とも言うべき疫病に向き合いながらの会務運営が続いております。常日頃各社頭において我々神職は「目に見えぬ神」に向かい祈りを捧げ、殊にコロナ禍においては、日々疫病終息の祈りをご神前に捧げております。目に見えるものが

溢れ返るこの現代において、奇しくも我々は「目に見えぬ敵」に悩まされ、そして「目に見えぬ神」に変わらぬ祈りを捧げています。皮肉にも目に見えぬものに対しての認識を改めさせられているようにも思います。そしてコロナ禍によって様々な当たり前が覆され、我々の生活は一変しました。顔を合わせずて会話をすると、このあたり前の「繋がり」さえも覆り、それを補うようにして台頭してきたオンラインでの会話が象徴するようになり、これまでの「繋がり」とは異なる成果とも弊害ともとれる様々な形のもので生まれてきました。

当会は創立七十周年の節目を「繫心（大御心をいただきて）」の主題とともに迎えました。コロナ禍においても我々はこの趣旨に違わず、畏くもこの国の安寧を祈られる大御心をいただき

き、祈りの心というものに尚も真摯に向き合い繋いで参りました。更には青年会としての今後を見据え、顔と顔を突き合わせるようなこれまでの尊き価値観のもと、真の「繋がり」で以って一致団結していかなくてはなりません。

この時節に大任を預かるには正に浅学非才という外なく、この一年も試行錯誤、というよりも、右往左往を繰り返して参ったように思います。しかしながら、右へ行けば左に、左へ行けば右にとその道筋を正しながらも力強く前へと進めてくれていた同志たちの頼もしき支えのもとに、新年度も邁進していく所存でございます。今後とも倍旧のご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。させていただきます。

役員紹介(敬称略)

- 〈会長〉 吉田実生
- 〈副会長〉 堀川秀徳 大野一省 溝脇 斉
- 〈理事〉 西世古智之 川西洋介 小林一憲 兼田哲也 増田秀磨 村田知聡 田井健治 石垣智矢 ウイルチコ・フローリアン 内田良麻 村田卓謹 福田太志 上部真稔 種村陸貴 川井 舞 富永悠司 大澤 武志 諸岡 涉 緒方 匡信 山下 文也
- 〈事務局〉 局長 安藤 孝信 次長 芦原 工記 局長 西村 聡汰
- 〈監事〉 三橋 航 宇治土公 祐高
- 〈顧問〉 宮崎 吉史 遠藤 嘉章

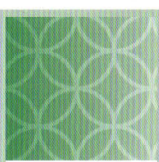


令和三年度 定例総会

令和三年四月十九日(月)本年度の定例総会は、コロナ禍の影響によりオンラインリモートを併用して開催した。(於三重県神社庁)

令和二年度会務報告 会計決算報告が行われた後、役員改選が上程され、新会長に吉田実生君が選任された。

宇治土公会長期では、通年の事業に加え新しい事業を展開し、役員会員共に一致団結して取り組んできた。この新しい事業を吉田会長期で今後どのように展開していくのが重要であり、それぞれの事業をしっかりと検討し、取り組んでいきたい。



会務報告

- 令和三年 四月
  - 十九日 令和二年度定例総会 三十五名出席(Web含む) 神社庁
  - 五月
    - 十四~十五日 長野・三重両県合同植樹事業 並びに遷宮啓発研修 八名参加 長野県 神社庁
    - 二十八日 第一回役員会 二十名出席 神社庁
    - 六月
      - 二十五日 第二回役員会 十六名出席 神社庁
      - 七月
        - 十九日 福祉活動「白塚海岸清掃奉仕」 十名参加 白塚海岸 神社庁
        - 二十九日 第三回役員会 十九名出席 神社庁
        - 八月
          - 九日 県内神社巡拝 十名参列 高城神社
          - 九日 第四十一回お宮の子供会 三十七名参加 神宮会館 神社庁
          - 二十六日 第四回役員会 十二名出席 神社庁
          - 九月
            - 二十四日 第五回役員会 二十名出席 神社庁
            - 十月
              - 二十七日 第六回役員会 十七名出席 神社庁
              - 十一月
                - 四日 新職員交流会 二十五名参加 伊勢市
                - 四日 大阪神道青年会との意見交換会 十二名出席 Web
      - 十二月
        - 二十八日 第七回役員会 十六名出席 神社庁
        - 四月
          - 四日 神宮大麻全国頒布百五十年記念研修会 二十四名参加 (Web含む) 神社庁
          - 四日 YouTubeチャンネル開設
          - 六~三十一日 神宮大麻全国頒布百五十年に向けたYouTube 広告配信 第八回役員会 十三名出席 神社庁
        - 令和四年 一月
          - 二十七日 二見興玉神社・神宮・猿田彦神社参拝 十三名参列 伊勢市内
          - 二十七日 第九回役員会 十五名出席 神社庁
          - 二月
            - 十一日 建国記念の日啓発活動 国旗掲揚 チラシ・花の種配布(二千五百枚) 県内各所
            - 二十四日 神宮神道青年会との合同研修会 三十名参加(Web含む) 神宮会館
            - 三月
              - 二日 第十回役員会 十五名出席 神社庁
              - 十一日 県外研修 六名参加 新潟県
              - 十七日 北部・中部ブロック研修会 五名参加 神社庁
              - 二十九日 第十一回役員会 会長以下十七名出席 (Web含む) 神社庁
              - 三十日 曹洞宗青年会との交流会 十二名参加 神社庁
              - 三十一日 会報「榊葉」発行(千五百部)

七月十七日(土) 社会福祉活動の一環として、津市の白塚海岸清掃奉仕に会長以下十名が参加した。SDGsという共通の目標のもと清掃活動を行い、現地の状況をこの目で確かめることは、わたしたち自身のライフスタイルを見直す良いきっかけを与えてくれる。地道な清掃活動の積み重ねによる成果や、持続させることの大切さを感じた。



**白塚海岸  
清掃奉仕**

SDGs

本年も役員を中心に毎月数名ずつ協力をしています。今年度は一般会員の協力も得て、延べ人数で昨年度より多い結果となりました。また、従来高校や大学では、学園祭などで献血バスの派遣が行われておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により軒並み中止となるなど、全国的に協力者が減っております。皆様のご厚意により救える命があります。是非、



**献血報告**

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

SDGsは「17の目標」を掲げ、それぞれに上図のようなアイコンがあります。SDGsを「自分ごと」として捉え、それぞれの活動、生活の中に浸透させていくことが大切と考えます。

SDGs 検索



今後ともご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。



**長野県神道青年会との  
合同植樹事業並びに  
遷宮啓発研修**

SDGs

五月十四(金)・十五日(土)に長野県木曾郡木曾町三岳に鎮座する御嶽神社若宮境内に於いて、長野県神道青年会との合同植樹事業並びに遷宮啓発研修を執り行った。今回、腰高に成育した二十六本の檜の苗を植樹したが、五十、六十年の月日を経てようやく立派な檜に育つとのことで、成長する



に従って枝打ちを行うなど手を加える必要があり途方もない時間と労力を要する事業である。植樹体験を通し、鎮守の杜を後世に伝えていくことの大切さ、自然との共存共栄の心を再認識した。

次期神宮式年遷宮に向けて、更には三重神青が力を入れているSDGsにも繋がることとであり、今後の神明奉仕に際し有意義な研修であった。

十一月四日(木)初めての試みである大阪府神道青年会とのオンライン形式の意見交換会を開催した。今回の意見交換会は、同じ若手神職の団体でありながら、組織の編成の違いや活動している内容も



意見交換会後には懇親会も開催され、参加者より次回の開催を待ち望む声が多くあり、今回の事業は今後の活動に参考となる貴重な交流の機会となった。

様々なことから、お互いの青年会を知るといふ事を目的として、事前に両府県から出された質問に各担当者が答えていくという形で進めた。

**大阪府神道青年会との  
意見交換会**

**うどん食堂つぼめや**

〒516-0018  
伊勢市黒瀬町 953 番地  
TEL0596-22-5480

太鼓作り900有余年  
本木製ならではの品格と質の高さは最上級

原木・原皮からの一貫生産工場直売

在庫豊富 各品速納 カタログ送付

諸太鼓製造元 津島神社他多数御用達受  
○神社・仏閣・教会用○雅楽・能楽用各種○祭礼用・舞台用・他

**堀田新五郎 商店**

☎(0567)26-2412(代)  
愛知県津島市下新田町5丁目123 FAX24-7663

神祭具御装束調進  
**鈴木半三郎商店**

〒516-0077 伊勢市宮町1丁目12-7  
(TEL) 0596-23-1881  
(FAX) 0596-23-0202

社殿造営  
かやぶき神殿・神具御霊舎・丸曲製造設計・施工・販売卸

**有限会社 俵田屋**

代表取締役 田中 弘紀  
伊勢市宇治浦田1丁目10-38  
☎(0596) 22-3905(代)  
FAX (0596) 22-3908



第四十一回お宮の子供会は、八月九日(月)伊勢の神宮(内宮)・神宮会館を会場に、「親子参宮団」と題して二年ぶりに開催する事が出来た。感染防止の観点から規模を縮小し、半日での開催となったものの小学生十五名、保護者九名、計二十四名のご参加を頂いた。



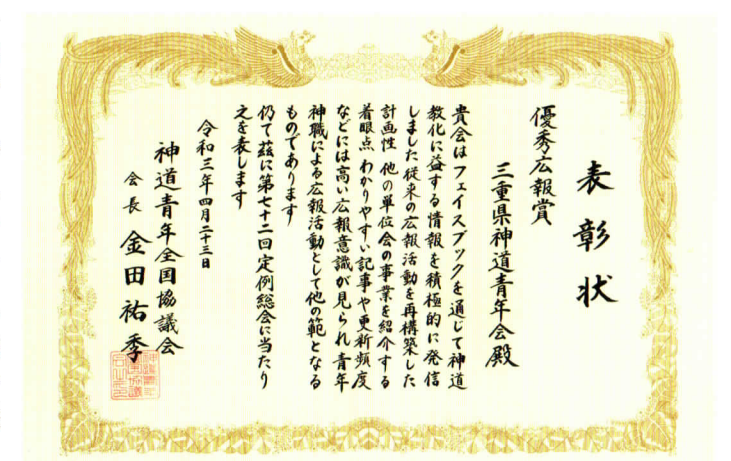
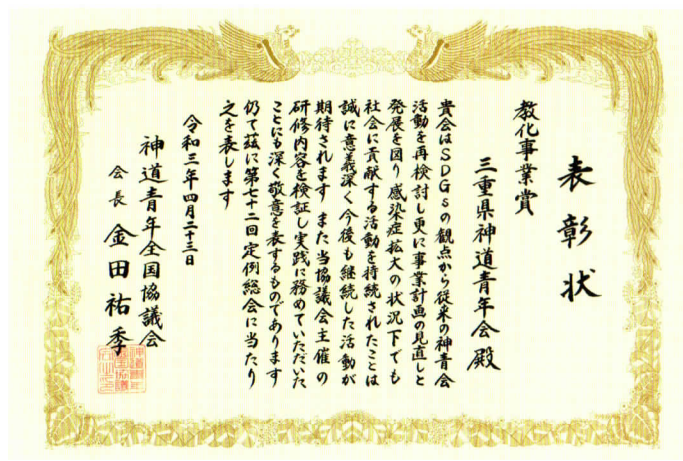
令和三年四月二十三日(金)第七十二回神道青年全国協議会定例総会に併せて、第四十回神道青年全国協議会定例表彰式が執り行われました。(於神社本庁)

この度は全国の単位会より二十三の事業が推薦され、その中で優秀広報賞に『三重県神道青年会 Facebook』が、そして教化事業賞に『神道精神に基づく青年活動とSDGs』がダブルで表彰されました。



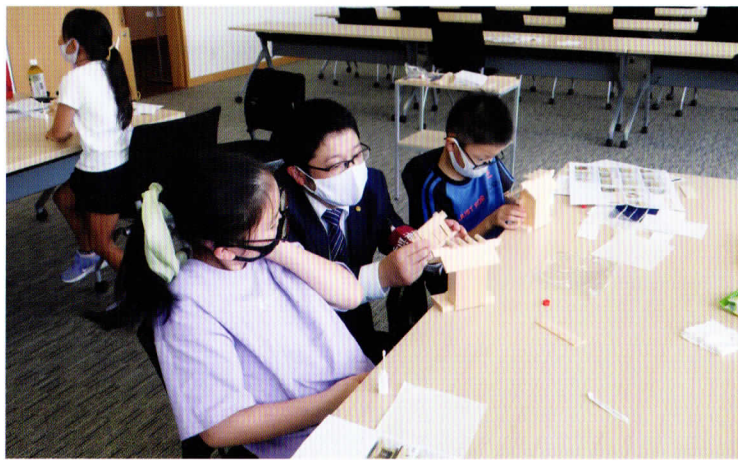
第四十回 神青協定例表彰  
事業賞  
広報賞

令和二年度はコロナ禍にあっても活動の動きを止めずに事業を展開していかうという方向性の下に、むしろ現下で行える事業を展開することを目的として、全ての事業を一から見直しました。コロナ禍でも行えることを第一義とし、当初の事業計画に変更を加え、また更には新たな活動も加えて会員一同試行錯誤し、できる活動を考えて積極的に実行してきたことについて、表彰という栄に浴したものであると誇りに思います。



神社参拝作法の講習も併せて行った。子供たちが真剣な眼差しで聞き入っていたのがとても印象的で、休憩時間には兄弟などで作法の練習を行う姿も見られた。

その後、神宮参拝および御神楽



神宮忠様による神棚キット工作体験では、最初は戸惑いながらも子供達同士で教え合いながら全員が作り終える事が出来た。

講習会では、神宮の歴史や神社に関する知識などの教化に努め、



規模を縮小しての開催ではあったが、神社をより身近に感じることができて神道教化につながったことと思う。来年こそは感染症が収束することを祈るとともに、有意義なお宮の子供会が開催できるように更に力を注いでいきたい。

えと土鈴・各種土鈴・額皿・人形・御社紋入盃  
名入湯呑・素焼製品・その他オリジナル陶製品

神宮司庁御用達  
**いつき陶苑**  
〒515-0321 三重県多気郡明和町齋宮2432-1  
Tel 0596-52-5702  
Fax 0596-52-3713

祈る心によりそう御守づくり  
京の伝統に真心を込めて

◆京都奉製株式会社  
京都 本社 / 東京営業所 / 仙台営業所  
福岡営業所 / 東海営業所 / 広島営業所  
☎0120-164124 (イロヨイニシキ)  
京都奉製のHPがリニューアルされました!  
是非ご覧ください。https://www.omamori.co.jp/

全国各神社 御神符御社頭授与品  
奉 製 所

伊勢國産合資会社  
〒516-0025 伊勢市宇治中之切町87  
TEL 0596-22-2960  
FAX 0596-22-2335  
◎多少にかかわらず御用命ください。

神棚に御札をおまつりし  
家内の安全をお祈りいたしましょう

伊勢神宮会館  
伊勢神宮崇敬会

板葺神棚(中)  
外寸:幅46×高さ44×奥20cm  
内寸:幅12.5×高さ32×奥8cm  
10,000円(税込)

洋風神棚  
外寸:幅20.6×高さ30.6×奥8.2cm  
約深2つで高さ神札(最大)角縁  
2,000円(税込)

茅葺神棚(中)  
外寸:幅57.5×高さ15.5×奥37.5cm  
内寸:幅21.5×高さ32×奥8cm  
50,000円(税込)

※茅葺神棚・板葺神棚の大きさは各(大)(中)(小)がございます。他に懸掛け用神棚もございます。  
種類・寸法など詳しくはホームページをご覧ください。以下の連絡先からお願いします。

TEL 0596-22-0001 FAX 0596-22-1517 E-mail tsuhan@jingukaikan.jp

特集

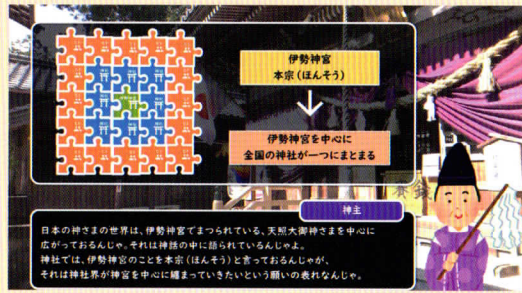
神宮大麻全国頒布  
百五十年記念事業

YouTube  
動画は  
こちらから!



令和四年は、全国に神宮大麻が頒布されるようになって百五十年を迎えることから、教化研修委員会では大麻頒布促進運動の記念事業として

意義について解説、質疑応答という形で行った。家庭であれ会社であれ、何故御神札を祀るべきなのかを先ず知っていただくことを目的として分かり易い内容を心掛けた。当日は川西理事が司会を務め、田井理事が解説及び質疑の応答を担当した。  
オンライン併用という試みであったが、大きなトラブルもなく、webの参加者からは積極的な質問を頂くなど、二時間という短い時間ではあったが、実りの多い研修会となった。また作成した映像はYouTubeにアップロードし、事業所用の資料も会員間でデータを共有して、今後の教化活動に活かせるように取り計らった。



て、神棚の祀り方の映像作成及び研修会を開催する運びとなった。映像は、御神札を祀る意義・お参りの作法といった内容を、出来る限り平易に伝えることを心掛け、PowerPointを用いて対話形式のアニメーションに仕上げた。音声については、プロの声優に依頼し、録音も映像制作会社に依頼するなど完成度の高い仕上がりととなった。

それに伴い、十二月四日(土)「神宮大麻全国頒布百五十年記念研修会」と題して三重県神社庁を会場に研修会を行った。研修は、Zoomを用いたオンライン併用の形で開催し、青年会員・三重県氏子青年会・その他協賛会社、事業所等の方々にご参加いただいた。内容は、作成した映像を視聴してもらいながら会社・事業所で御神札を祀る



神宮大麻全国頒布百五十年に向けた広報活動

令和四年は、神宮大麻が全国に頒布されるようになって百五十年を迎えることから、YouTubeの広告を利用して広報活動を行った。

YouTube広告に配信する動画は、四名の青年会員の奉務神社に於いて、神宮大麻を奉斎する意義等と呼びかけた動画を編集し、作成した。

十二月六日から三十一日までの二十六日間、三重県内を対象に広告動画を配信し、表示回数二二、四七二回に対し視聴回数が八、八〇一回となり、視聴率は三十九%となった。

今回、新たな方法での広報活動として行い、種々データを収集することができたので、今後も神道についての教化広報に力注いでいきたい。

YouTube  
動画は  
こちらから!



鶏川原神社  
毎朝それのご家庭でお祀りいただく御神札なのです

創業 明治以前  
各種御神符・守札 その他授与品全般  
湊御神符奉製所  
**株式会社 湊**  
伊勢市神宮会館前 (〒516-0025)  
TEL(0596)22-2442(代表) FAX(0596)28-8445  
info@ise-minato.co.jp http://www.ise-minato.co.jp

神祭具 授与品 記念品 奉製  
**株式会社 神路社**  
本社 〒516-8611 三重県伊勢市岩淵2丁目5番29号(私書箱第26号)  
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110  
E-mail info@kamijisya.co.jp  
神苑(東京日本営業所) 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号ACTビル4階  
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721  
E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp  
http://www.kamijisya.co.jp

御装束・調度・各種祭礼衣裳(神楽等)  
授与品 御調製  
**有職工房**  
代表 江原永容  
〒602-1002  
京都市上京区上御霊前通  
室町東入内構町四二四一  
電話 〇七五-四一七-三二二七  
FAX 〇七五-四四一-三三七六  
フリーダイヤル 〇二〇-六四-八八五五  
HP http://yusokukoubou.com

社寺建築・設計施工 御装束・調度品 御調製 調整=御遷宮  
**株式会社 甲村**  
〒463-0069 名古屋市守山区新守西1608  
電話 (052) 792-1202  
FAX (052) 792-1293  
御来店は JR中央線新守山駅前店へ  
JR中央線 名古屋駅より15分  
名古屋 金山 鶴舞 千種 大曽根 新守山 長野 駅前店

**YouTube**  
チャンネル開設

YouTube 動画はこちらから!

この度三重県神道青年会公式YouTubeチャンネルを開設いたしました。

現在、総務・広報委員会製作の動画「神社のおまじりの仕方」をはじめ、先の記事でもご紹介した教化・研修委員会製作の動画「神棚を祀る」や、渉外・福祉委員会製作の動画「国旗掲揚」等を配信しています。会員各位におかれましても、各々の教化活動にぜひご活用下さい。

今後も、神社や神道について一般の方々により親しみを持っていただけるよう拡充してまいりますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



**SNS**で  
情報発信中

フェイスブックとインスタグラムで様々な情報を発信しております。

昨年度から引き続き、活動報告や祝祭日の国旗掲揚の呼びかけを行っており、今年度からは、「三重県のお社紹介」と題した県内の神社紹介を始めました。

ぜひご覧いただき、フォローをしていただくと励みになります。どうぞよろしくお願ひ致します。

Facebook  
QRコード

Instagram  
QRコード



**国旗掲揚**  
YouTube  
動画紹介

YouTube 動画はこちらから!

SNSで祝祭日の国旗掲揚を呼びかける投稿を行ってきましたが、今回、視覚に加え聴覚にも訴え、更に幅広い世代にわかりやすく国旗掲揚の意義を伝えたいとの思いから、YouTube動画を作成いたしました。

動画は約四分で、国旗の意味や掲揚の方法等を紹介しております。ぜひ、皆様のお社においてもご利用いただけたら幸いです。

**建国記念の日**  
啓発活動

今年度の建国記念の日啓発活動は、国旗掲揚啓発について記されたチラシを作成し、花の種類（なでしこ）を添えて周知を図った。例年と異なり新型コロナウイルス感染症拡大によりまん延防止等重点措置の三重県内発令に伴い、宇治橋前での配布などは行わず、県内各神社数か所の社頭にて配布した。

来年の建国記念の日啓発活動はコロナウイルスが終息に向かい、活動が制限なく、盛大に開催されることを願う。



インターネットコミュニケーション&リサイクル

# ミエネット販売

代表 楠 康弘

〒516-0001  
三重県伊勢市大湊町 185-10  
TEL・FAX (0596) 36-4751



## 総合カタログ進呈

社殿・調度品・神祭具・御装束

### 伊藤商会

〒470-0131 愛知県日進市岩崎町ケカチ4-3

いいくにさんばい

フリーダイヤル ☎ 0120-192381

電話 0561-74-5110

FAX 0561-73-1472

ホームページ <https://itousyokai.jp>

神殿 神祭具 設計 製作 施工 販売

# 株式会社 宮忠

みやちゅう



企業案内サイト

神酒 三重の新嘗 醸造元  
清酒 宮の雪

# 株式会社 宮崎本店

ISO9001・ISO14001 認証取得企業

四日市市楠町南五味塚972  
電話 (059) 397-3111  
[www.miyanoyuki.co.jp](http://www.miyanoyuki.co.jp)

# 各種研修会



## ■ 神宮神道青年会との合同研修会

二月二十四日(木) 神宮会館にて合同研修会を開催した。コロナ禍の為、オンライン併用での研修会となり、合わせて三十名が参加した。皇學館大学文学部准教授中山真先生を迎え「Withコロナ」から「afterコロナ」におけるコミュニケーションと題してご講演いただいた。

コロナ禍という閉鎖的な世情における人々の心理状態を心理学・カウンセリング理論の観点から考え、コミュニケーションの方法・常識が変化する中、神社へ参拝される人、地域の氏子・総代・崇敬者の方々とよりよく意思疎通する上で、実践につながる貴重な研修会となった。



## ■ 北部・中部ブロック研修会

三月十七日(木)に三重県神社庁において北部・中部ブロック合同研修会が開催された。「他宗年間研修 各宗教宗派における葬送儀礼についてーどういったことが行われ、何を意味しているのかー」というテーマのもと、三重県神道青年会・真言宗青年教師会・曹洞宗青年会から十三名が参加した。

各団体から五十分間テーマに関する講話を頂き、その後、質疑応答という形で進行した。普段なかなか接する機会のない他宗教の考え等に触れることができ、非常に有意義な研修となった。



## ■ 県外研修・災害対策研修

三月十日(木)・十一日(金)に新潟県で県外研修を行った。新潟市鎮座の白山神社様や新潟県護国神社様、弥彦村鎮座の弥彦神社様を参拝し、新潟大神宮様にて正式参拝を行った。梅坂宮司様より御由緒や地域の歴史について説明いただいた。

また、災害対策研修として新潟県中越地震の教訓を伝える「おぢや震災ミュージアムそなえ館」にて中越地震や東日本大震災時に活躍した小千谷市職員の方に解説いただきながら展示の見学や地震体験などを行った。震災対応の体験やそこから得た教訓をお話いただき、より一層対策に力を入れるという思いを共有する研修となった。



## 災害時の備蓄品購入

令和三年度の事業として災害備蓄品を購入した。災害時の支援や活動に必要と想定される備品をリストアップし災害対策基金より拠出した。

今回購入した備蓄品は左記の通りである。いつ起こるか分からない危機に備え、継続した活動の一助となればと思う。

- ・ポータブル電源
- ・ソーラーパネル
- ・飲料水
- ・土嚢詰め
- ・非常用トイレ
- ・トイレ用テント
- ・トイレ用猫砂
- ・照明ライト
- ・ティッシュ
- ・ビニール袋



総額 一二六、七四五円を

災害対策基金より拠出

### あなたの本づくりサポートします!

- 自分史
- 句集
- 歌集
- 写真集
- 画集
- エッセイ

お問い合わせは  
株式会社オリエンタル良書出版事業部まで

株式会社オリエンタル TEL 059-245-3111

三重県津市河芸町上野2100番地 FAX 059-245-1177 <http://ryosho.apgl.jp/>



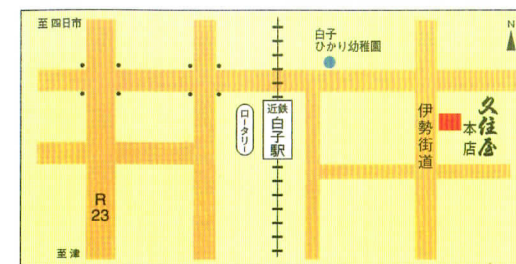
## 伊賀FCくノ一三重

### 2022ファンクラブ 募集中



年会費:3500円~  
特典:試合のチケットや選手との交流会などの参加資格を付与  
※詳細は事務局までお電話ください。

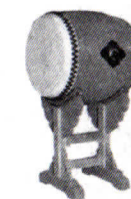
伊賀FCくノ一三重 事務局  
住所 〒518-0015 三重県伊賀市土橋61番地  
電話 0595-24-2564



## 久住屋茶舗

●本店 鈴鹿市江島本町 7-13 TEL (059) 386-0142  
<毎週月曜定休日> FAX (059) 386-8385

創業260年の  
伝統技術 桑名 **和太鼓** 造り  
創業宝暦三年 御太鼓師 九代目 阿部甚兵衛  
**阿部太鼓店**



### 心に響く確かな技

桑名市下深谷部645 (高砂町)  
(大桑国道258号線深谷陸橋下西へ50m)

☎(0594)29-1110(代)  
FAX(0594)29-3405

# 「伊勢麻」刈り取り作業助勢奉仕

SDGs



令和三年七月から八月にかけて「伊勢麻」の刈り取り作業を助勢する機会に恵まれた。吉田会長以下三名が、期間中にひとりずつ奉仕をしたが、作業は早朝五時頃から開始され凡そ午前中で終了した。麻の栽培地は非公表のため、伊勢麻振興協会が管理をしている古民家でそれぞれ前泊し、関係者の車に同乗し現地へ向かった。

真夏に加えて腰痛を伴うかなり過酷な作業で、国内の主たる生産地である栃木県においても、体力的理由などにより生産者が年々減少しているという現実を目の当たりにしたような体験であった。

午後からは、収穫した麻を茹でて干す作業が行われ、見学させていただくことができた。

斯界において絶対的に必要である「麻」は、栽培地が限られているだけでなく生産者の激減により

国産の精麻が手に入りにくい現状であるが、三重県における「麻」の栽培が軌道に乗り、ひいてはこの事業が全国に普及してゆくことを切に願うと共に、今後も我々ができることを協力していきたい。



## 編集後記

皆様のお陰をもちまして「榊葉四十八号」をお届けする事が出来ました。各活動及び編集にご協力いただきました関係各位には御礼申し上げます。

今回は一年間の活動写真を集めて表紙写真としました。神青協より表彰されたことは、これらの写真が示すように日々の活動の成果だと思っております。

また、新たにYouTubeチャンネルを開設し、広く青年会を知っていただく広報活動を行いました。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。